

ドボク管理 建設部門 社内教育・資格取得プログラム

建設コンサルタント技術者は、多様化する社会ニーズに適応するため、技術力の向上が不可欠です。このため弊社では、社内教育と資格取得に向けた社内講習会を実施しています。

OJTとOff-JT

社内教育は、日常の業務につきながら行うOJTと、通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練Off-JTからなります。弊社では、日常的にOJTを実施しながら、年間を通じて計画的にOff-JTを行って、メリハリのある社員教育で個々のスキルアップを図っています。

● 弊社における社内教育の方向性

	OJT On the Job Training	Off-JT Off the Job Training
内容	通常の業務を通して行う教育訓練	通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練
目的・成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 実務スキルの向上 ● プレゼン力の強化 ● 社内交流の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 体系的な知識の習得 ● 専門知識の習得 ● 資格取得の学習

● OJTの実施内容

日常の実務を通して、先輩社員から後輩社員へと知識を継承し実務スキルの向上を図ります。また、定例の部門会議では担当業務の課題や設計方針などを発表する場を設け、プレゼン能力の強化を図っています。こうした積極的なOJTは、社内コミュニケーションの活性化にも寄与しています。



部門会議での技術発表



学習指導の様子

● Off-JTの実施内容

専門的知識の習得に有効とされるOff-JTですが、弊社では、資格所得に向けた学習に重点を置いています。

資格取得に向けた学習のメリット

- ① 設定する目標が具体的で明確
- ② 合否判定により学習成果を明確に把握
- ③ 資格取得により技術者としての社会的評価が向上

資格取得に向けた社内講習会

社内講習会では、独学では得ることのできない学習成果を付与することを目標に実践します。具体的には、以下の事項を配慮します。

● モチベーションの維持

① 計画的な学習体制

まずはじめに学習計画を作成します。講習開始の段階で実施内容やスケジュールを把握し、目標に向けた学習計画を確立します。

② 学習成果の見える化

学習プログラムの節目ごとに小テストを実施し、その結果を毎回公表します。学習成果の見える化で、適切な競争を生み出し、受講者のモチベーションを高めます。

③ 報奨金の付与

資格取得に対する報奨金や手当などを給付します。

● 合格者の経験に基づく実践的学習指導

① 直近の合格者による技術継承

社会ニーズの変化に併せ、試験の出題傾向も随時変化しています。これに柔軟に対応していくため、直近の合格者がメイン講師を務め、自身の経験に基づくノウハウを継承します。

② 「縮約」による論文作成の練習

論文の作成では論理的な思考法が求められます。これの訓練として論文の「縮約」を重点的に行います。



先輩社員の学習指導

縮約とは？

要約のように文章の要点を簡潔にするのではなく、地図で縮尺というように、文章表現はそのまま、文章全体を縮尺してまとめること。



参考書や既往の論文から、重要な部分を文体ごと選択し、これを縮めて連続性を整えます。これの繰返しによって、読解力、速読力、精読力が鍛えられ、専門用語の理解と記憶の定着にも繋がります。

● 実践プログラムの好循環

① 講習会資料のデータベース化

これまでの講習会資料はすべてサーバーにて一括管理し、必要な時に必要な情報を検索できるデータベースを構築しています。

② 講習内容の改善による成功の好循環

毎年、合否結果の分析と評価を行い、改善内容を翌年の学習計画に反映して、PDCAサイクルにより講習内容も成熟させます。直近の合格者による技術の継承と併せ、常に最新の技術を習得し、次の合格者を生み出す成功の好循環を構築します。

おわりに

こうした社内教育および社内講習の結果、建設部門においては近年連続の合格者を輩出しています。これに刺激を受けて、自己研鑽やその他の資格取得への挑戦など、積極的にスキルアップに取り組む姿勢が社内で高まっています。こうした取組みを継続し、技術力の向上を図り、最高の技術サービスの提供に努めております。



勉強会の様子

平成29年度 札幌開発建設部長賞拝受

このたび、平成29年度北海道開発局優良工事等表彰において、業務部門で「雨竜暑寒地区暑寒別雨竜停車場線 北工区 区画整理設計等業務」および「深川道路事務所管内 交通安全検討業務」が北海道開発局札幌開発建設部長賞を受賞しました。